



KUZUU

ROTARY CLUB NEWS

例会日 毎週火曜日
 例会場 榑才オガノ内 2F
 栃木県佐野市葛生西
 1-3-34
 TEL 0283(85)4451

2013～2014
 RI 会長テーマ

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」 ロンド・バートン

「みんなで ロータリー活動の实践」 須藤功一

葛生 RC 会長テーマ 副会長 岩崎昇一郎 幹事 齋藤孝之 副幹事 片柳克敏

2013～2014 第 2572 回 26.3.18 例会場 於：榑才オガノ内 2F PM 12：30～

葛生RC ホームページアドレス <http://www1.ocn.ne.jp/~kuzuu-rc/> メールアドレス kuzuu-rc@luck.ocn.ne.jp

会 長 挨拶

3月16日(日)に青濫泰斗高等学校吹奏楽部の第9回定期演奏会行って来ました。会員の方々も奥様同伴にて入らしていただきました。通常の演奏とステージドリルショーでは客席の通路での演奏・卒業生の各パートでの独奏と大変素晴らしい演奏と、また生徒さん達の寸劇などもあり楽しい時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

3月も中旬で間もなく春分の日になりますが、まだまだ安定して暖かい日が続かない様です。桜も少しですが咲いて来ていますが、まだまだの様です。早く安定してもらいたいと思います。

世間では、何かと騒がしい事が起きています。特にマレーシア航空の乗員・乗客239名が乗った飛行機がクアラルンプール空港を離陸後行方不明になってから早1週間以上になります。異例の捜索活動で近隣の国々が捜査に協力していますが、今だに何も発見されずにいます。魔のバミューダ海域の話がありますが、音信不通になってから6から7時間飛行していたとの情報もあり、どうしたのか謎が深まるばかりです。早く無事で発見されればと祈るばかりです。



会 長 報 告

1. 昨日、第9グループの会長幹事会ありました、
2. 合同例会について
6月20日(金)午後6時より元RI会長田中作治氏をお招きして開催いたします。
3. 気仙沼南との、支援活動について 5月24・25日(土・日)に実施いたします。



副 幹 事 報 告

- ・4月27日(日) 足尾で植樹活動を行う予定です。



皆さん、今日は。福島プログラム委員長より、ゴルフ談義パート2を、内容は何でもいいから、任せるからよろしくとのことでした。

ゴルフに関しては、既に、昔の面影と輝きを失ってしまった、私のゴルフ談義など、今更、と思いますが、時間潰しということで、少々、時間をいただいて、佐野地区と葛生地区で私が関係している二つのチームの内、今日は、葛生地区でのゴルフチーム、ライムクラブについて、話してみようと思います。どうか、差し障りのある方は、両耳を塞いでお聞き願えれば幸いです。

その前に、一応、前回、お届けしたシングルへの道19番ホール及びマナー・エチケット編に続くものとして、まず、ゴルファーのための心得編・第6ヶ条をお届けしたいと思います。

その1 飛距離を自慢する 幼稚園

その2 スコアにこだわる 小学生

その3 景色が見えて 中学生

その4 マナーが厳しい 高校生

その5 歴史がわかって 大学生

その6 和気あいあいの 社会人



皆さんは、どのレベルのゴルファーなのか、マナー、ルール、テクニックの習得率を考え、今後の参考にさせていただきたいと思います。

ゴルフプレーに関しては、自分自身の現実を常に冷静に見極め、自分のコンピューターにインプットされたデータを十分、活用する。こうした戦略に加えて、ルールを適正に活用して、ルールを強い味方にしてしまうことが必須条件かと思えます、更に加えて、マナー・エチケットの正しい習得があって、初めて、名実共に、愛されるゴルファーとしての人格が形成されるのだと思います。その原点は、フェロウシップ、即ち、友愛に尽きると思えます。

次に、技術編をお届けしたいと思います。ルーティーン、アドレス、スイング、アプローチ、パッティングに分けて、説明したいと思います。あくまで、田澤理論でありますので、参考になさらない方が賢明かと思えます。先程、申し上げました通り、時間潰しということで聞き流していただければ幸いです。

ルーティーン① 意識せずとも無意識のうちに繰り返しリラックスの状態（自然体）でセットアップできる自身の方程式を確立する

〃 ② ルーティーンのスタートはティーオフからではなく、一日一日のプレイを意識した時、その瞬間からスタートしなくてはならない
私の場合、ゴルフ場に一步、足を踏み入れた瞬間から、田澤秀文から、フレッド・カプルスに変身して、カプルスそのものになってしまします。しかしながら、透明人間が、最後は透明人間になりきれなかったように、私も最近、すっかり、アバレージゴルファーの身となつたようであります。



アドレス ① 30～60cm前方にスパットを設け、常にフェースがスクウェアに保たれるよう心掛ける

〃 ② スタンスはスクウェア、又は、気持ちオープン位がベターである

〃 ③ 始動までの間、原則に忠実、且つ、自身のセットアップ・ルーティーンを堅く守る

スイング ① テークバックからフィニッシュまで、クラブヘッド、手、肩が一体となって、同時（一緒）に動作するようにする

〃 ② 円（クラブ）の軌道は右膝・右肩を支点に、やや前傾姿勢を保ちながら、軌道が水平盤の上を水平回転するような感覚でスイングする

- 〃 ③ スイングは、力まず、ゆったりと大きく、自分のリズムを信じて、いつも同じリズム、同じスピードでワンピースに振り抜く
 - 〃 ④ テークバックからトップまでは、ベルト付近を思い切りよじりながら回転させ、顎の下まで肩が入るような形でトップ位置を作り上げることを心がける
トップでコックをつくる時、左手甲は常に飛行線と平行にする
内側に折れるとフックに、外側に折れるとスライスになってしまう
 - 〃 ⑤ インパクトでは、三角形を保ちながら腰を回転させ、正面で思い切り、手首を切換えしていく
インパクトからフォローにかけては、如何に力まず、如何に早く、腰を回転させられるかを心掛ける
 - 〃 ⑥ フィニッシュは常に残心を残したまま、同じ位置に納まるよう心掛ける
- アプローチ ① 上下左右の動きを意識して、確実にボールを芯でヒット出来るよう心がける
- 〃 ② アプローチこそ、リズム感と自身のルーティーンを大切にする
- パッティング ① 常にソフトに生卵を優しく転がす感覚で打つ
パッティングはストロークや軌道より、芯に当てることを最優先すること
- 〃 ② ボールの位置が常に目の下にあるようにシフトする
 - 〃 ③ 視線は右目で捕える
 - 〃 ④ リズム感、ルーティーンの重要性を意識しながらパットする
- 以上で技術編は、ひとまず終了です。



さて、本論に入りますが、佐野地区のゴルフチームは、唐沢ゴルフ倶楽部の公式競技を中心に活躍している仲間であります。一方、葛生地区のチームは、家族間の親睦を中心にした仲間たちであります。あくまで、田澤塾の原点は、ゴルフ競技の修練にあります。

そして、クラブ名を「L I M E C L U B ライムクラブ」と命名したのであります。

そのコンセプトを三つほど考えました。

その1 L I M E ライム

ライムグリーン色、黄緑色の清涼感あるレモンに似たフルーツをイメージしました

その2 D R E A M 来夢（らいむ）

Realize one's dream Dreams comes true

その3 L I M E 石灰

石灰の町葛生 Lime stone reserves



という、フルーツ、夢、石灰の三つのことをイメージして、「ライムクラブ」と名付けたのであります。

ライムクラブの発起人は、私、田澤秀文、毛塚良治君、横塚信也君、八下田幸三君の4名で、スクラッチ競技を旨として出発の予定でしたが、異論、反論続出で、親睦団体お決まりのハンデ戦で開催の運びとなった訳であります。

ライムクラブのチャーターナイトは、1998年9月3日で、平成10年のことでもあります。今年で16年目のクラブということになります。ちなみに、創立記念日の9月3日は、偶然にも、家のマロンの誕生日でもあります。

チャーターナイト会場は、桃里カントリークラブで第1回目のゴルフコンペを開催したのであります。今、考えると、記念すべき第1回大会が私のホームコース、唐沢ゴルフ倶楽部でなかったのが悔やまれるところでもあります。

チャーターメンバーは、年齢順で、田澤秀文、毛塚良治、横塚信也、八下田幸三、酒庭和一、山

野井修二郎、田澤芳子、横塚恭子の8名でありました。その時のハンデキャップは、田澤秀文（5）、毛塚良治（9）横塚信也（11）、山野井修二郎（13）、酒庭和一（18）、八下田幸三（19）、横塚恭子（19）、田澤芳子（36）で決定され、このハンデを基準に、優勝者は▲2、準優勝者は▲1、メーカーは+2、ブービーは+1という形で、ルールが決められ、以降、今日まで、頑固に踏襲しております。振り返れば、その昔は、私も結構、稼がせていただいたと懐かしく思います。

ちなみに、チームリーダーを、塾長と呼んでおりますが、私、田澤秀文が、塾長を、幹事は八下田幸三君が務めております。

ライムクラブは、ゴルフ競技の他、折に触れ、新年会、花見、納涼祭、忘年会等、開催している訳であります。ライムクラブの最大イベントは、会員の「還暦を祝う会」であります。赤いベストを皆で贈り、この真紅のベストを着用して、ゴルフコンペを行い、夜の部で盛大に祝賀会を全員参加のもと、開催しております。大会に還暦なったものが赤いチャンチャンコを忘れると、重い罰金を科することにしております。

その後、メンバーも増え、現在は14名の会員で構成されておりますが、ちなみに、今年、若手組の3名がめでたく、還暦を迎え、来年からは、全員、赤いちゃんちゃんこを着て、プレーすることになります。傍から見たら、異様に映るかも知れませんが、私の眼の中には既に楽しい映像が映し出されております。

尚、14名の仲間は、すべてカップルで入会してござりまして、現在のフルメンバーを改めて、紹介しておきたいと思っております。まず、田澤秀文、田澤芳子、毛塚良治、毛塚登志子ご夫妻、横塚信也、横塚恭子ご夫妻、八下田幸三、八下田和子ご夫妻、酒庭和一、酒庭澄子ご夫妻、山野井修二郎、山野井律子ご夫妻、斎藤誠司、斎藤知英子ご夫妻の方々です。

ちなみに、現在の、会員のクラブハンデキャップはどうなっているのか、興味をお持ちかと思っておりますので、ここで、改めて、発表したいと思っております。では、ハンデ上位順から毛塚良治（2）、山野井修二郎（5）、田澤秀文（6）、横塚信也（8）、斎藤誠司（11）、八下田幸三（20）、酒庭和一（22）、横塚恭子（28）、斎藤知英子（30）、山野井律子（40）、田澤芳子（40）で、後の、登志子さん、和子さん、澄子さんの3名の方はゴルフをなさらず、もっぱら、サポーター、ギャラリ役として、活躍していただいております。私も、来年、1月4日で、いよいよ、70才の大台であります。いつまで、こんなゴルフ談義を凶々しくやれるのか考えてしまいます。

今後のゴルフレッスンに関しては理論派で教え魔の吉澤浅一さんが適任かと思われましますので、そちらに譲りたいと思っております。自慢話に関しては、馬場君と斎藤孝之君に譲りたいと思っております。尚、一興に、理論だけはプロ顔負けと評判の八下田幸三君の理論編も一度、正式に聞きたい気もしますが、皆さん、如何でしょうか。

時間が、少々、まだあるようですので、面白い記事を見つけましたので、紹介しておきたいと思っております。2点ありますが、1点は、温暖化から寒冷化の時代へということ、もう1点は、ストーンクロック（石の時代）からウォータークロック（水の時代）へという、この2点についてであります。

盛んに、温暖化という言葉が飛び交っております。今日の下野新聞にも、今世紀末には洪水の損害額が最大で3倍以上になる。又、平均気温が最大6、4度C以上上昇する。砂漠は全国の85%が消失するという記事が掲載されておりました。一方、昨年、減り続けていた北極海氷の体積が、前年より1.5倍に増加していると欧州宇宙機関の観測衛星「クライオサット」が観測したと発表されました。北極海氷は、1980年代の2万立方キロの体積から、2012年9月には、体積6000立方キロという観測史上、最少体積まで縮小してしまいました。それが昨年10月に9000立方キロまで回復していることが確認されたのです。宇宙航空研究開発機構の観測衛星「しずく」も同時期に同じことを観測しています。

現在の温暖化は、1980年頃から、急速に進み、1979年2月から3月にかけて、グリーン

ランド海の表面水温が、突然、2度高くなる出来事が起こり、この変化で、周辺の大気の流れに影響が及び、温暖化への道が始まりました。今年も北極海氷が増加するようであれば、寒冷化に向けて、私たちも意識を変えなければならぬかも知れません。

実は、太陽にも変化が表れています。太陽は約11年周期で活動が活発な時と低調な時期を繰り返しますが、その度に北と南の両極の磁場が入れ替わるといふ現象が起きます。しかし、国立天文台と理化学研究所等の観測によりますと、昨年、春に起きるはずの「磁場の逆転」がみられず、太陽活動の低い状態が続いているとのことです。過去を振り返りますと、このような太陽の異変は数百年に1度ほど、起こっており、同時期に平均気温が下がり、夏が来なくなるという現象が起こっていたという記録があります。地球の寒冷化との関連性はまだはっきりと示されておりませんが、研究者の間では、太陽の磁場活動の低下と気温低下との関連性が大きく注目されています。従って、今年の夏は、過ごしやすい夏、或いは、寒い夏になるかも知れません。注目したいところです。

次にストーンクロック（石の時代）からウオータークロック（水の時代）に入ったという話です。

世界各地で天候異変に関する災害が多発していますが、何故、こうした現象が世界で多発しているのでしょうか。それは、65万年続いたストーンクロック（石の時代）が2009年の8月辺りから、閉じ込められ始め、2011年1月7日から1月8日にかけて、地球が新たな時代、ウオータークロック（水の時代）に入ったからだそうです。

ウオータークロックとは、水・心・女性性・調和の時代で、女性性や調和が大事にされ、肉体と意識のバランスが保たれる時代のことだそうです。

現に、ちょうど、ストーンクロックからウオータークロックへ移り変わった時に、オーストラリア北東部では、記録的な大洪水が起こりました。特に、クインズランド州では、最高レベルのカテゴリー5にまでレベルアップした風速80メートルの巨大サイクロン「ヤシ」が上陸し、大洪水の被害に見舞われています。又、カリフォルニア州では、昨年が過去100年で最悪の干ばつとなり、今年に入っても各地の貯水池が干し上がり、市民への水の供給が出来ない状況で、1月17日に、ジェリー・ブラウン知事が非常事態を宣言しました。そして、その後、すぐに干ばつで苦しんでいたアメリカ西部は、突然、「冬の嵐」が到来し、降雪・降雨・凍結という真反対の気候となっているのです。

このように、ウオータークロックに入ったことで、水に関する干ばつや大雨・洪水などの天候被害が起こり易くなったと言われていています。65万年続いた時代が終わり、新たな時代に入ったということで、このことをしっかり認識して、世界の動きに注目したいところです。以上で卓話終わります。



出席状況報告



八下田幸三委員長

本日の出席	会員数	義務出席者数	欠席数	事前メール	出席率
	32名	22名	3名	1名	90.6%
本日の欠席者	奥澤 新田 馬場会員				
前回の出席 (修正)	前例会日	欠席数	事前メール	修正出席率	
	3/11	7名	1名	78.1%	

欠席の連絡

・アシスタント 関塚 TEL **84-1032** (サムディー)



・例会場 (当日連絡の場合) TEL **85-4451**

ニコニコBOX報告

八下田幸三委員長

須藤功一君

青濫泰斗高等学校吹奏楽部の定期演奏会で素晴らしい演奏を聞かせて頂きありがとうございました。田澤さん卓話ありがとうございました。
マロースの観劇にご協力ありがとうございました。
いかがでしたでしょうか？



齋藤孝之君

暖かくなりました。我家の冬眠中だったカメもムクムクと起きだしました。春を感じます。
倉本聰作のマローズを両親が観て参りました。ありがとうございました。

野部栄一君

暑い寒いも彼岸まで。良い季節となることを待っています。

田澤秀文君

16日、日曜日マロンに留守居をさせ、妻と青藍泰斗高校の吹奏楽部の定期演奏会を鑑賞。初めてなので興味津々でしたが、個人技はともかく、心が一つになると、あのような素晴らしいハーモニーを演出できるという喜びを徐々に味わい、深く感動しました。
私も大学時代、ギタークラブに所属し、渋谷 NHK ホール等で定演をおこなった経験もあり、青春の1ページを思い起こし、学生達と同じ熱い思いに浸りました。ありがとうございました。

坪内 馨君

今日は春の彼岸の入りです。3/24までですので、ご先祖様に感謝と近況報告のお墓参りに出かけましょう。ご住職にもご挨拶をお忘れなく!!

片柳克敏君

田澤さんのゴルフ談議を聴きなにか上手になった気がします。
3月16日青藍泰斗吹奏楽に参加し、大変感動しました。レベルの高さにびっくりし、ただただ感心しました。

吉澤慎太郎君

アラスカ・フェアバンクスでオーロラを見てきました。
いずれ卓話で報告します。



福島秀治君

田澤さん 本日は卓をありがとうございました。
(今年は、ゴルフに燃えていると聞きました?)

小曾戸健治君

3月16日青藍泰斗高校吹奏楽部の定期演奏会、大変感激しました。
演奏のレベルも高く、内容もとても素晴らしかったです。
来年がとても楽しみです。

関口文雄君

青藍泰斗吹奏楽部 素晴らしかった。感動をありがとう。

永井治寿君

おかげさまで 3月16日青藍泰斗高校吹奏楽部の定期演奏会が盛大に行われました。9回目にして、はじめてあくどプラザが満席になりました。
ありがとうございました。

塩島達人君

先日紹介いただきました観劇「マロース」(ロシア語で「冬将軍」)を妻と観てきました。プロの女優さんはすごい迫力でした。
倉本聰さんもいらしてました。



八下田幸三君

田澤さん 卓話ありがとうございました。

会報委員会 委員長 中田英昭 副委員長 真下裕史 委員 塩島達人